

【教育目標】 心豊かな子どもの育成をはかり、確かな学力向上に努める

〈継続しているとりくみ〉

【心豊かな子どもの育成】

- ・共感的に受け止めようとする(ほめる・認める)ことを大切にした学級づくりをめざす。
- ・日々の学級づくりや授業づくりを通して、自分もあいても大切にする心を育む。

【確かな学力向上に努める】

- ・算数において、算数学力実態調査を実施する。その結果を踏まえ、朝の学習で継続的にとりくませることで基礎基本の定着を図る。
- ・ICTを活用した授業の共有や情報能力活用表の確認を通して、授業改善にとりくむ。

〈今年度からのとりくみ〉

【授業づくり・授業改善】

- ・「学習の心得」の導入と振り返る「月一チェック」の実施をし、自分の思いを表現することや友だちの考えを聞いてもう一度考えることを大切にする。

【思考力・表現力】

- ・ペアやグループ学習、人前に立って話す経験など、言語活動を充実させる。

教科の結果より(本校正答率／全国正答率)

【知識・技能面の課題】

国語「学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うこと」(62.7/81.6)

【授業形態による課題】

理科「差異点や共通点を基に、新たな問題を見だし、表現すること」(7.9/29.9)

【思考ツールにおける課題】

算数「数直線上で、1の目盛りに着目し、分数を単位分数の幾つ分として捉えること」(17.6/35.0)

児童質問より(本校肯定的回答率／全国肯定的回答率)

【自己肯定感と教員とのかかわりについての成果】

「自分には、よいところがあると思いますか」(53.1/47.3)

「普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか」(63.3/54.5)

「先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、わかるまで教えてくれると思いますか」(55.1/47.7)

【ICTの活用についての成果と課題】

「ICT 機器について、友達と協力しながら学習を進めることができる」(55.1/46.3)

「5年生までに受けた授業で、PC・タブレットなどの ICT 機器を、どの程度使用しましたか」(8.2/24.5)

①知識・技能の定着

- ①家庭学習の充実を図る。昨年度から高学年で配布している「学習のてびき」を全ての子どもに配布するとともに、課題の設定の仕方について工夫してとりくむ。
- ②基礎・基本の定着を図るために継続してとりくんできている朝学習を、その内容や分量についてさらに充実できるようにする。
- ③授業時間内外を問わず「〇〇タイム」にとりくむ。(例)計算タイム、漢字タイムなど

②授業改善・授業形態

- ①実験や観察など、体験活動により多くとりくめるようにする。また、その進め方についても、それぞれの子供が PDCA サイクルをまわせるように工夫する。
- ②算数科で言うと数直線やテープ図、絵などを活用して考えを表現したり、その考えを他者に伝えたりするなど、思考ツールを各教科の授業でとりいれられるようにする。
- ③子どもが考えをもったり、広げたり、つなげたりする場面において、ICT機器を最適な方法として選択できるように活用を進める。

③言語活動の充実

- ①自分の考えを説明する。
- ②友だちの考えを聞いて質問・賛同をする。
- ③考えと考えを結びつける。

①～③の子どもに育成できるように①や②を推進し、話型や話し合いの場づくりなどにも新たにとりくむ。

これまでのとりくみ(P・D)

全国学力・学習状況調査の結果より(C)

これからとりくみ